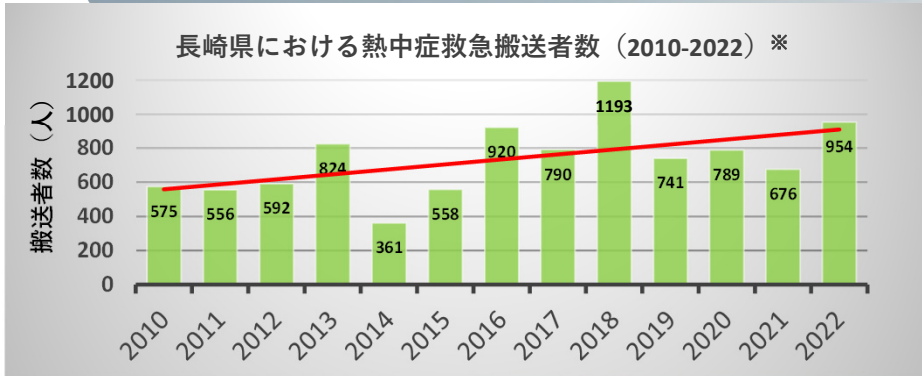


熱中症[☝]にご注意！

～あなたの地域の熱中症事情～

気候変動の影響に

適応！
しよう

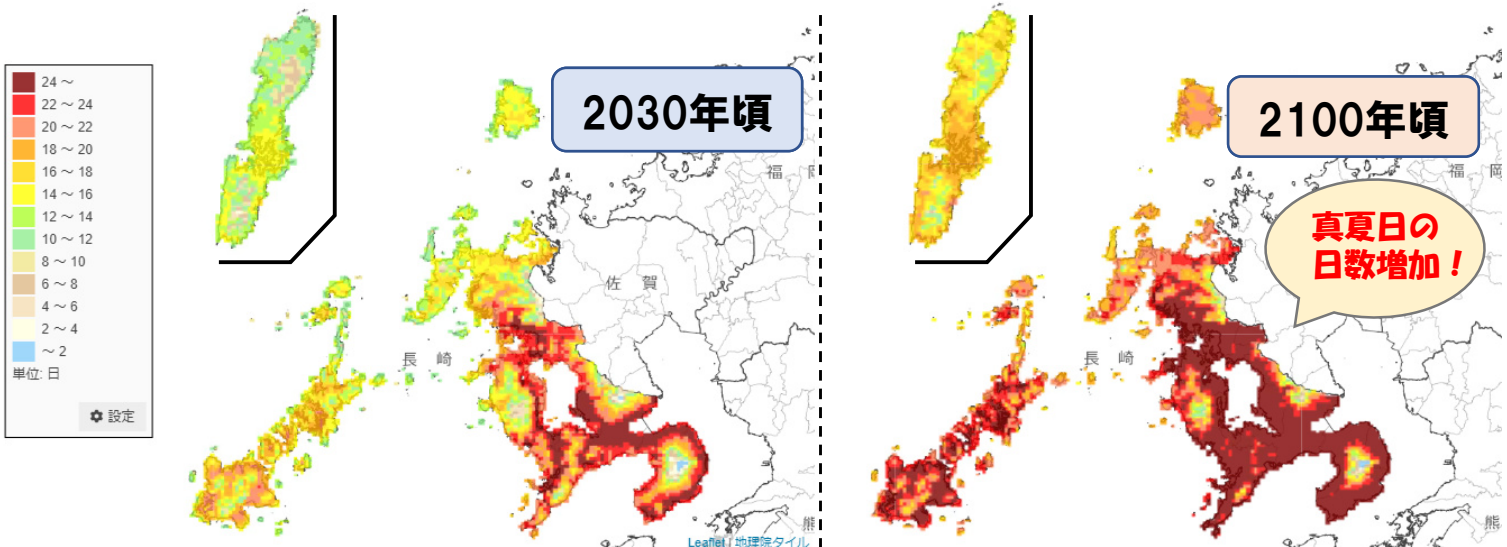


※消防庁公表データを基に作成



- ◆ 県内の熱中症発生数は年々増加傾向です。
- ◆ 今後も気温は上昇傾向が続くと言われてしています。
- ◆ 夏場の熱中症を予防するための対策が重要です。

県内の真夏日の日数の将来予測（8月）



図：A-PLAT_WebGISより

厳しいCO₂排出対策が実行された場合の予測をしてみました。
2030年頃と2100年頃の真夏日の日数（8月）はこうなります。



長崎県気候変動適応センター
（長崎県環境保健研究センター内）

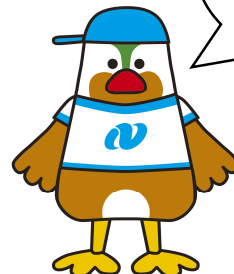
Local Climate Change Adaptation Center in Nagasaki Prefecture



長崎県気候変動
適応センターHP



Twitter



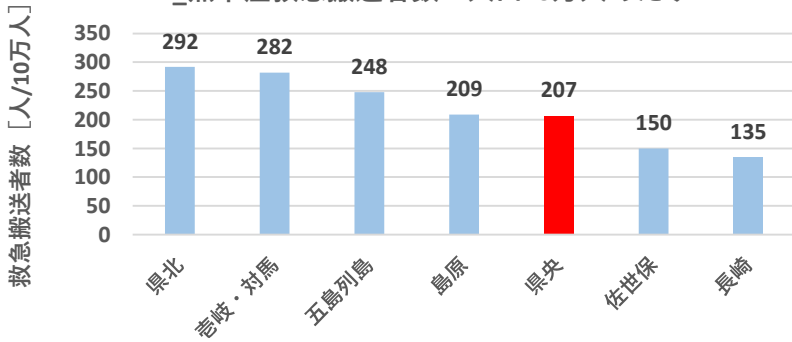
地域別の
特徴は裏面
を見てね！

裏面へ

地域別の熱中症事情：県央地区

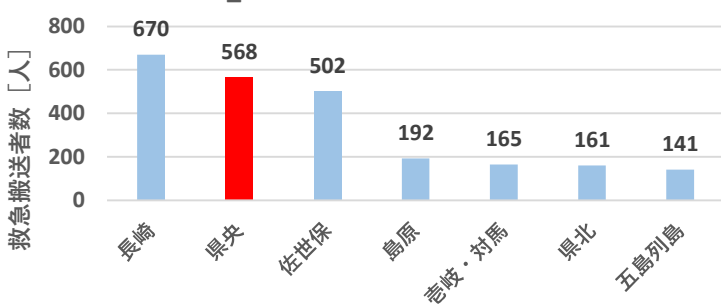
※グラフは令和2～4年度のデータを使用しています。

R2-R4_熱中症救急搬送者数：人口10万人あたり



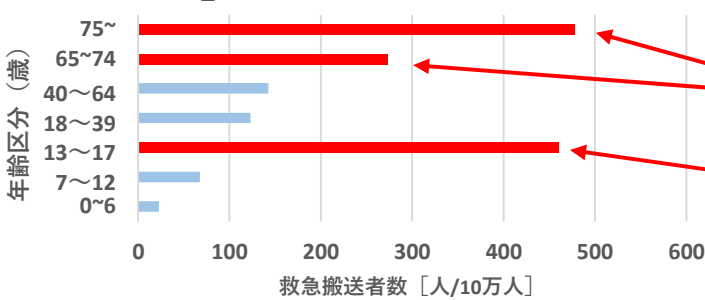
県央地区の熱中症で救急搬送されるリスクは県内で**5番目**ですが...

R2-R4_熱中症救急搬送者数：実数



人口10万人あたりのリスクは比較的低い地区となりますが、**実数としては2番目に多い地区**です。救急医療のひっ迫を軽減するためにも、熱中症の予防は重要です。

年齢別_熱中症救急搬送者数（県央地区）



この世代は要注意！

高齢者世代（特に75歳以上）

主な発生場所：住居

中高生世代（13～17歳）

主な発生場所：教育機関、公衆（屋外）

熱中症を予防しよう！

暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。



熱中症の主な症状

- めまいやほてり
- 筋肉痛・筋肉のけいれん
- 体のだるさや吐き気
- 汗のかき方がおかしい
- 体温が高い、皮ふの異常

高齢者世代



高齢になると温度感覚が鈍くなると言われています。また、住居で熱中症になる方が多い傾向にあります。

→ 冷房を適切に利用しましょう！
ご家族の方の見守りも重要です。

中高生世代



中高生世代は運動の機会が多いことが熱中症の発生に繋がっていると考えられます。

→ 高温時の屋外活動の回避を検討しましょう。また、休憩をこまめに！

熱中症警戒アラートを要チェック！

暑さ指数（WBGT）の情報を
気軽に入手！



LINE環境省
公式アカウント



PC・スマー
トフォン用



フィーチャー
フォン用

環境省メール配信サービス